

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

下松市教育委員会

全国学力・学習 状況調査の結果 公表

平成28年度全国学力・学習状況調査(平成28年4月19日実施)の結果についてお知らせします。

本調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境等の状況を把握するとともに、児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善に役立てるものです。本年度は、国語、算数・数学が実施され、合わせて児童生徒質問紙により生活習慣等に関する調査が行われました。

山口県の結果

小学校

区分	平均正答率 (%)	
	全国	山口県
国語A	72.9	74.6
国語B	57.8	58.7
算数A	77.6	78.4
算数B	47.2	48.1

中学校

区分	平均正答率 (%)	
	全国	山口県
国語A	75.6	76.9
国語B	66.5	68.2
数学A	62.2	63.6
数学B	44.1	45.0

※ A問題(主として「知識」に関する問題) B問題(主として「活用」に関する問題)

下松市の結果

下松市の平均正答率を全国や山口県と比べると、小・中学校ともに、国語、算数・数学のすべてにおいて、全国平均、山口県平均を上回る結果となっています。

教科に関する 結果

◎：相当数の児童生徒ができている点 ▲：課題のある点

小学校 国語

- ◎ 第5学年までに学習した漢字を読むこと
- ◎ 目的に応じて、図と表とを関係付けて読むこと
- ▲ グラフを基に、分かったことを的確に書くこと



小学校 算数

- ◎ 整数や小数、分数を含む四則計算をすること
- ◎ 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べること
- ▲ 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述すること



中学校 国語

- ◎ 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- ◎ 相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話すこと
- ▲ 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること



中学校 数学

- ◎ 正の数と負の数の加法の計算をすること
- ◎ 2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すこと
- ▲ 与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明すること

児童生徒質問紙
調査の結果

望ましい
状況

- ◎ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合が高いこと【小学校・中学校】
- ◎ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童生徒の割合が高いこと【小学校・中学校】
- ◎ 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合が高いこと【小学校・中学校】



課題と
見られる状況

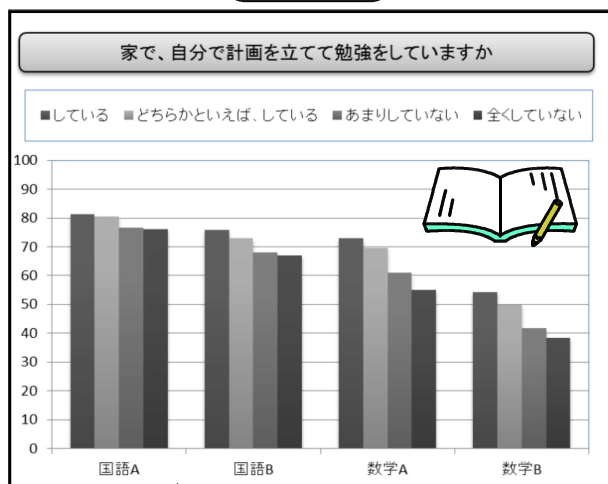
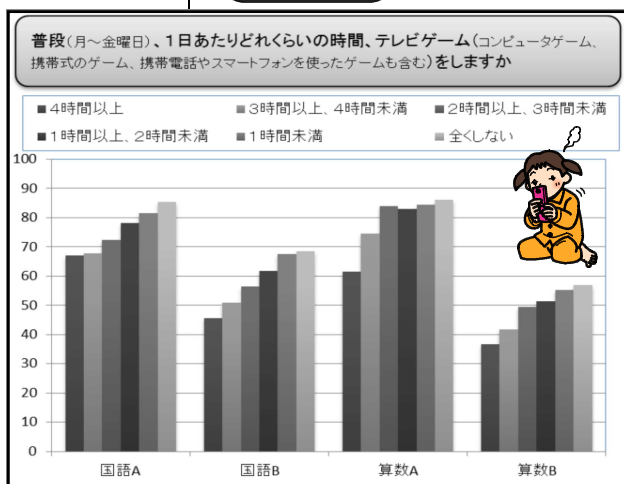
- ▲ 「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である」と回答した児童生徒の割合が低いこと【小学校・中学校】
- ▲ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合が低いこと【小学校・中学校】
- ▲ 「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」と回答した児童生徒の割合が低いこと【小学校・中学校】

クロス集計による結果

* クロス集計とは、「児童生徒質問紙」と「各教科の平均正答率」との関係を調べたものです。

小学校

中学校



「普段、テレビゲームを全くしない」と回答した児童は、「1日当たり4時間以上テレビゲームをする」と回答した児童と比べると、平均正答率が高い傾向が見られます。

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒は、「計画を全く立てていない」と回答した生徒と比べると、平均正答率が高い傾向が見られます。

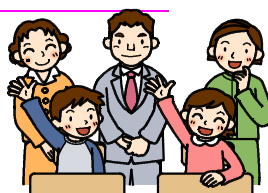
今後の取組

★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの見直し・改善等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- 校内研修の活性化と指導の充実
(研究授業や活用力を高める研修の充実、「やまぐち学習支援プログラム」や「学力定着状況確認問題」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクールを生かした学習支援
(地域の人材の活用等)



★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 活用力を高める授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及